

「セキュリティの仕事、どんなことをしているの？ どうしたらなれるの？」 2025

InternetWeek 2025 オンラインWeek

2025.11.20(木)



株式会社ラック



株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン 主席研究員（産学官連携担当）

■ ソフトバンク、日本ユニシス(現・BIPROGY)を経て、現職。情報セキュリティコンサルティング、情報セキュリティ監査業務等を経て、現在は主にセキュリティ教育、産学官連携活動業務を担当。長野県警サイバー事案対策アドバイザー。JNSA教育部会 WG リーダー。

■ 主な担当講師業務

- ISC2 CISSPレビュートレーニングセミナー認定主任講師(2009年～)
- 東京電機大学 非常勤講師、国際化サイバーセキュリティ学特別コース(CySec) 講師(2011年～)
- 国立高知高専 非常勤講師 (2019年～)

■ 最近の主な活動

- 経済産業省 産業サイバーセキュリティ研究会 WG2 委員(2024年度～)
- IPA 情報処理安全確保支援士講習統括委員会委員 (2017年度～)
- 情報危機管理コンテスト 運営スタッフ (2017年度～) ほか

■ 主な著書等

「IT現場のセキュリティ対策完全ガイド」（日経BP社）、「情報セキュリティ監査公式ガイドブック」（日科技連出版、共著）、「情報セキュリティプロフェッショナル教科書」（アスキーメディアワークス、共著）、「ネットワークセキュリティ」（オーム社、共著）等。



URL : <http://www.lac.co.jp/>

E-mail : choichi.hasegawa@lac.co.jp <http://www.facebook.com/choichi.hasegawa>

大学・大学院「分野・地域を越えた実践的情報教育協働NW(enPiT)」のセキュリティ分野(enPiT-Security)

※ ラックでは、和歌山大学、東京電機大学、静岡大学、長崎県立大学との連携講座(演習あり)を毎年行っている。いずれも、OBOGが講師(ファシリテーター)を務めている。

国立高専機構「Society5.0型未来技術人財育成事業(COMPASS5.0)」

<https://www.kosen-k.go.jp/nationwide/gear5-0-compass5-0>



年月日	場 所	内容・担当	備 考
3月3日(月)	木更津高専	セキュリティ基礎講義 (K-SEC+enPiT)	4コマ,ハイブリッド(対面+オンライン)
3月4日(火)	木更津高専	セキュリティ基礎講義 (JNSA)	4コマ,ハイブリッド(対面+オンライン)
3月5日(水)	東京電機大学	セキュリティ基礎演習 (JNSA)	4コマ,対面
3月6日(木)	JNSA企業	企業見学会 (3社)	対面,JNSA会員企業にて実施.
3月7日(金)	東京電機大学	演習発表(K-SEC+enPiT+JNSA)	2コマ,対面

•enPiT Security

<https://www.seccap.jp/basic/>

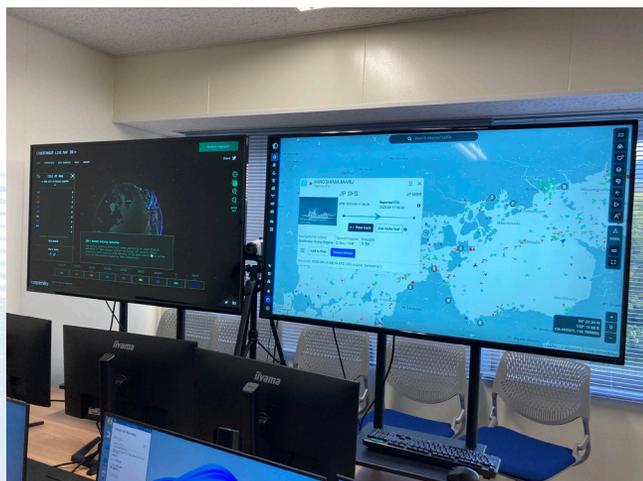
•KOSENサイバーセキュリティ教育推進センター(K-SEC)

<https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/K-SEC/>



国立高専の情報系と商船系の学生がいっしょに実験船を運航して行う講座.2023年度より開始され,今年度は2025年9月17日~19日に開催された.

- ・ 海事サイバーセキュリティプロジェクト | note
<https://note.com/oceancyberlab>
- ・ 広島商船高等専門学校公式チャンネル | YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCpkIDJgCNvaejw42W05RQVA/featured>



- 「第20回 情報危機管理コンテスト」

<https://sccs-jp.org/symposium29/cmc20/whats-cmc/>

※ 毎年5月下旬に開催されている学生対象のコンテスト.2025年で20回目の開催となった.

- 「KOSENセキュリティコンテスト2024」

https://www.kisarazu.ac.jp/k-sec/kosen_securitycontest_2024_report/

※ 毎年秋に開催されている全国の高専生対象のCTF(Capture The Flag).



・JNSA教育部会ゲーム教育WG

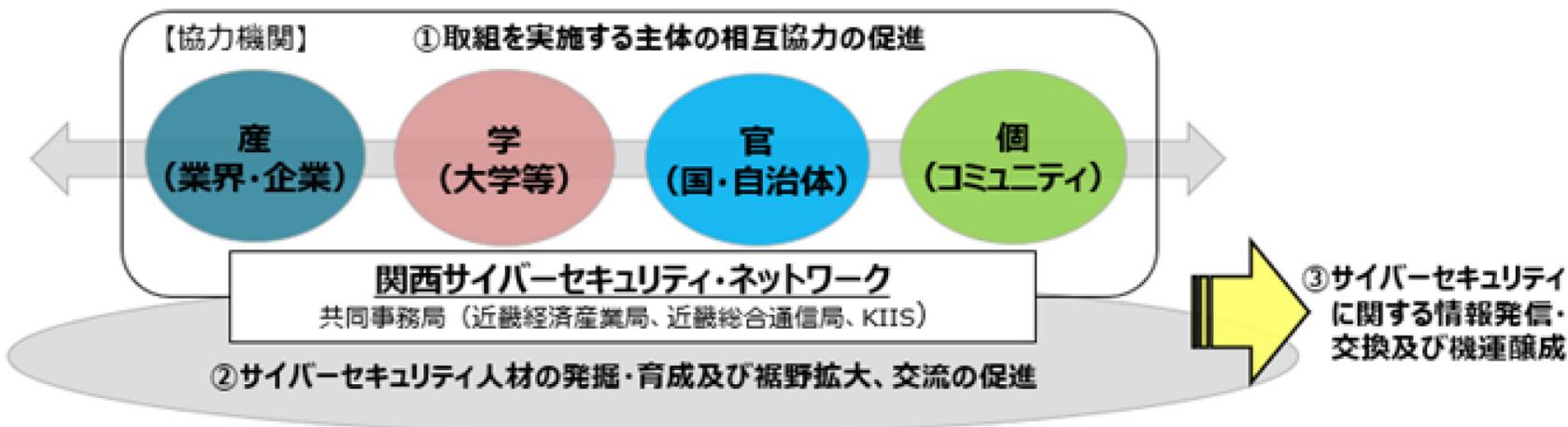
カードゲーム、ボードゲーム等のゲーム教材を利用したセキュリティ教育の研究や普及を目的に2016年より活動を開始。ゲームファシリテーターの派遣も行っている。

内部不正の手口と対策をテーマとした「セキュリティ専門家人狼」、インシデントレスポンスをテーマとした「MalwareContainment」、「CoRepo」（10月下旬、「CSS2025」でお披露目予定）を制作。

2020年には国立高専機構との共同研究で「MalwareContainment」Web版も制作した。



・関西サイバーセキュリティネットワーク



※原則として、産学官個の各主体が実施していない領域の取組を補完的に実施する

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/cyber/kansaicyber.html>

参加無料

学生向け 「サイバーセキュリティ 体験講座（入門編）」

-気づかぬうちに狙われている!? 日常に潜む脅威-

インターネットが社会経済活動の基盤となる中、ネットワーク上の脅威は、悪質化・巧妙化しており、サイバーセキュリティ人材の育成・確保は、社会経済を支える上で重要な課題となっています。
本講座は、サイバーセキュリティに興味を持ち始めた方やICT関係の仕事に関心があるといった方などがサイバーセキュリティに関する基礎的な知識から、サイバー攻撃が働く仕組みの手口についての講義や身近にあるサイバーセキュリティの脅威についてハンズオン形式で学べる演習を通して、サイバーセキュリティの知識を高めることができます。
演習ではスタッフのサポートもありますので初心者の方もサイバーセキュリティのスキル獲得の入口として安心してご参加ください。

プログラム	内容	講師
14:00-14:05	開会挨拶	
14:05-14:30	講話:「サイバーセキュリティの学び方」 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会 株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン 主席研究員 長谷川 長一 氏	
14:30-15:00	講義:「攻撃者が使う騙しの手口を知ろう」 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会 東京電機大学 サイバーセキュリティ研究所 協力研究員 株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部 主任技師 青木 翔 氏	
15:05-17:00	演習:「ハンズオンで学ぶ、あなたの身近なサイバーセキュリティ脅威」 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会 NTTドコモビジネス株式会社 イノベーションセンター Cyber Threat Intelligence Operations Architect 坪井 祐一 氏	

会場 50名
オンライン 50名

開催日 2025年 9/3 水 時間 14:00~17:00 受付 13:30~

会場 大阪工業大学 梅田キャンパス 201、202 住所 大阪府大阪市北区茶屋町1-45
または オンライン (Teams) 住所 OIT梅田タワー 2F

対象者 サイバーセキュリティに興味がある高校生、高専生、専門学校生、大学生、大学院生

お申し込み ご参加を希望される方は、右記URLまたはQRコードよりお申し込みを行ってください。
<https://forms.gle/wjWLFEEzIGxkWtFuE9>
お申し込み期限: 令和7年8月27日(水) 17時まで

お申し込みの方へ
【個人情報保護方針】参加申請時に取得した個人情報、本講座への参加申請の受付及び今後のサイバーセキュリティネットワークの事業運営に必要となる場合にのみ使用し、第三者に開示・提供・預託は行いません。QRコード

持ち物 インターネット接続可能なPC (推奨OS: Windows11、Mac/推奨Webブラウザ: Microsoft Edge、Google Chromeの最新版)
※上記以外のPCでも参加可能ですが、一部の演習に参加できない可能性があります。ご了承ください。
※インターネット接続は会場にて用意いたします。

問い合わせ先 (講座に関するお問合せ) 総務省 近畿総合通信局 サイバーセキュリティ室 TEL: 06-6942-8546
(申込みに関するお問合せ) 総務省委託: 株式会社エヌアイエスプラス TEL: 03-5689-8026

主催 関西サイバーセキュリティネットワーク事務局(近畿総合通信局、近畿経済産業局、一財団法人関西情報センター)
後援 独立行政法人情報処理推進機構
協力 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会

QRコード
リサイクルマーク
このマークは、印刷物の裏へ
リサイクルできます。

- 某大学の文系学生でした。専攻分野は「経営分析」。
- あまり勉強してなかった。遊んだり(野球・ラグビーの観戦など)、バイトしたり、稼いだお金で飲んで遊んで、またバイトして…、のループ(笑)
- とりあえず、4年で卒業はできた。
- コンピュータは仲の良い動機の友人(理工学部)が持っていたMSX (SONYのHitBit) と、3~4年生の選択科目「コンピュータ」で使ったIBM/55(言語: Fortran)のみ。特にPCやIT業界には興味がなかった。



音楽業界を目指していたが、紆余曲折あって(内定出た某社に入らず)ソフトバンク入社。

希望していない営業に配属され、その後に事業戦略部門やマーケティング部門を経て、ネットワーク技術職へ。その後1997年から、セキュリティ技術職へ。

情報セキュリティ関係の資格は、ベンダー資格くらいしかなかった。

→ ネットワーク関係含め、いくつか受験・取得した。(もはや、記憶がかなり曖昧…)

この時期がもっとも勉強して、資格を取ってたと思う。



社内の活動や資格取得だけでは、いろいろと限界を感じていた。

2001年、**NPO日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)**設立。**教育部会**の活動に参加。**経済産業省**や**IPAの情報セキュリティ人材育成の事業**(「情報セキュリティスキルマップ」の作成等)に参加。
その延長で資格化された「SEA/J」の活動に参加し、資格を取得、2003年頃から、その講師や大学での講師活動を開始する。(現在も継続中)

同じ年、IPA情報処理技術者試験において、「情報セキュリティアドミニストレータ」資格が開始される。

→「テクニカルエンジニア(情報セキュリティ)」→「情報セキュリティスペシャリスト」→「情報処理安全確保支援士(RISS)」

※ ちなみに、試験は受けていない。(書籍で勉強はした。1回は申込みした)

経済産業省において、**情報セキュリティ監査制度**の設立が決まり、**NPO日本セキュリティ監査協会(JASA)**が設立され、その活動に参加。公認情報セキュリティ監査人資格(CAIS)制度に参画。資格を取得し、講師や委員活動を行った。

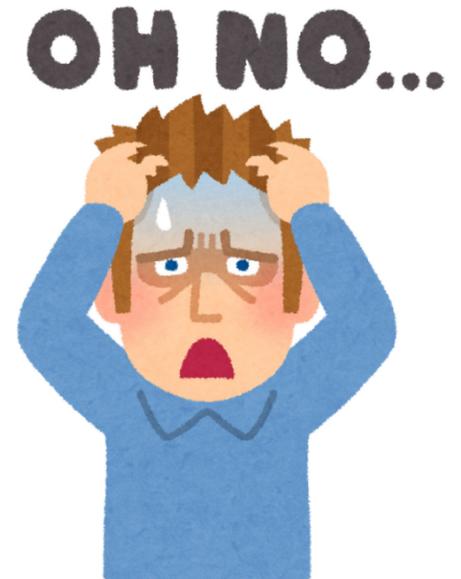
(転職した先の) 当時の所属会社の社内資格(外部及びグループ内)や社内論文関係の委員活動(評価、査読等) も行った。



そして、2005年。あるグローバルセキュリティ資格の日本語でのトレーニングと試験が開始された…

- 2005年7月、日本ユニシス(現・BIPROGY)在職時代ある日、米国の役員に呼び出される。(藪からスティックに)
 - 役員「ユー、CISSPって知ってる？」
 - ミー「はい、知ってます」
 - 役員「日本法人には、ハウメニーいるの？」
 - ミー「0名です。1人もいません！」
 - 役員「0？マジ?!」
 - ミー「はい。リアルマジです！」
 - 役員「ユー、CISSPとっちやいなよ！すぐに!!!」
 - ミー「すぐですか！」
 - 役員「グローバル・セキュリティでトゥギャザーしようぜ!!!」

※ 注：実際のやりとりを大幅に省略・脚色しています。



□ 2005年9月、受験・合格。



ユー、もっとハード
ワークしちやいなよ！

CISSPになったとの情報が社内のみならず、グループ会社やセキュリティクラスタを駆け巡る…

最大の変化：給料は増えなかったが(笑)、**仕事と責任はかなり増えた。**

(社内外の委員や講師の仕事など)

そして、ノマドワーカーになった。(笑)



2006年からCISSPの認定講師活動を開始。（現在も継続中）

2008年、SEA/J講師活動を停止。**ラックへ入社。**

2009年、CAIS講師、委員会活動を停止。

※ この頃より、CISSP以外の資格は更新せず、続々と失効。
（意図的に）

POINT..



2011年から、東京電機大学未来科学部の非常勤講師。（現在もCySecコースの担当として、継続中）

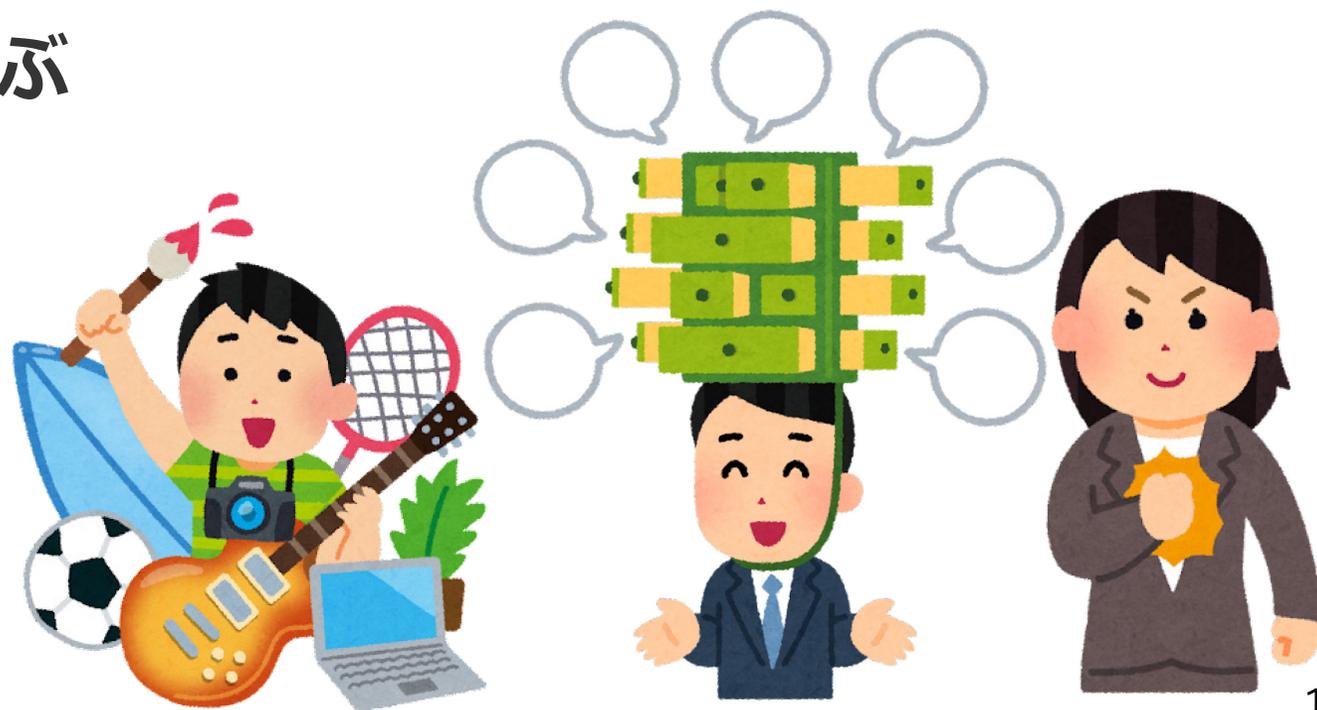
CompTIAのSMEsの活動を開始。（現在も継続中）

2017年から、IPAの情報処理安全確保支援士講習統括委員（他に、講師認定、カリキュラム検討の委員を兼任）活動を開始。

「情報危機管理コンテスト」の運営、(東京電機大学以外の)大学・大学院、高専の非常勤講師等の活動も開始。

(現在も継続中)

- **興味**や**関心**のあることに、積極的に取り組んでみよう！
- 自分の**得意**なことや**適性**を知ろう！（それを磨こう！）
- そして、自分のキャリアを描こう。
（自分に合った業界や会社を選ぶ
ためにも）





※ この講演における発言及び資料の内容は、個人の見解を含んでいます。それらは、所属する企業や団体を代表するものではありません。

※本資料は作成時点の情報に基づいており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※本資料に掲載の図は、資料作成用のイメージカットであり、実際とは異なる場合があります。

※本資料は、弊社が提供するサービスや製品などの導入検討のためにご利用いただき、他の目的のためには利用しないようご注意ください。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。